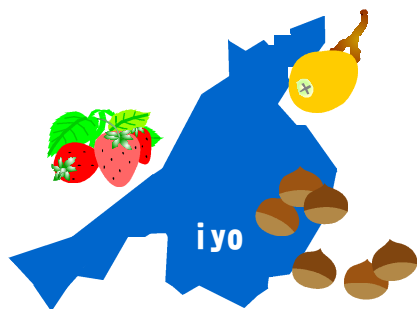




# 協働のまちづくりを実現する 市民討議会 NEWS

発行：令和2年11月 伊予市未来づくり戦略室 [伊予市米湊820番地 089-982-1111]

## 第5回伊予市市民討議会を開催しました！

9月27(日)、伊予市役所4階大会議室にて、「協働のまちづくりを実現する市民討議会」を開催しました。平成27年から始まった市民討議会は昨年は実施できなかったものの、今年で5回目となります。今回は無作為抽出により2,000人の市民の皆様にご案内し、希望された29人の市民の皆様と、愛媛大学の学生10人、問題提起者8人の計47人にご参加いただきました。はじめに、市民討議会の目的と、これまでの市民討議会の成果について説明しました。次に2015年に国連サミットで採択されたSDGsについて、クイズ等を通して理解を深めました(p2~3)。その後、総合計画における重点改善分野である8つのテーマについて、それぞれ市民の方6人と職員2人から、問題提起と目指すべき目標を提案していただきました(p4~7)。昼食後、関心のあるテーマに分かれ、検討課題の具体的な問題や改善のためのアイデアをグループで出し合いました。席を2度替わりながら、他のグループの提案についても意見を出しました。元のグループに戻り、出された付箋を整理し「課題解決アイデアシート」にまとめました(p8~13)。その後、目標達成のためのアクションプランを「アクションプランスケールマップ」に整理し、その内容を全体の場で発表していただきました(p14~21)。最後に、参加した感想等をカードに記入していただき、終了しました(p22~24)。

現在、こうした無作為抽出された市民による政策策定を目的とした熟議プロセスの実践が世界的な広がりを見せています。とりわけ伊予市においては、市議会議員や行政職員も一市民として無作為抽出で選ばれて参加するという特色あるスタイルの市民討議会を積み重ねてきています。今回は議長も参加されました。今回の成果を施策に反映していきたいと思っています。

### ＜市民討議会プログラム＞

#### 1：はじめに

##### 第1ラウンド

ステップ2：グループ対抗クイズ合戦

ステップ3：SDGsの内容について説明

ステップ4：8つの検討課題を問題提起

##### 第2ラウンド

ステップ5：総合計画とSDGsを関連付けよう！

##### 第3ラウンド

ステップ6：アクションプランの提案

ステップ7：グループ発表

ステップ8：まとめ

伊予市では第二次総合計画を4年前に策定しました。合併した平成17年には人口4万人でしたが、今は36,500人、15年後には3万人を切るという推計もされています。伊予市において、3万人が住み続けられる自治体を目指していこうと様々な取組をしています。

貨物基地の観光資源化、サイクルマップづくり、五色姫海浜公園の魅力発信、ふたみシーサイド公園の改修、クラフトの里の魅力づくり等、6つの校区それぞれに、企業のかも借りながら事業を進めています。伊予市にはまだまだ潜在能力があると思っています。

この伊予市をどうしたら未来につないでいけるのか、それぞれのお立場で、皆様の目で見えた様々なご提言を参考にして、行政としても次のステップに進みたいと思いますので、よろしくお願いします。



[武智邦典市長]

# グループ対抗クイズ合戦『意外と知らない？SDGs！』

SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」について理解し、身近なものとして考えるために、グループ対抗戦のクイズを行いました。

|        | Q 1 | Q 2 | Q 3 | Q 4 | Q 5 | Q 6 | Q 7 | Q 8 | Q 9 | Q 10 | 得点 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| 1 グループ | 3   | 3   | 5   | 2   | 2   | 4   | 2   | 1   | 4   | 5    | 2  |
| 2 グループ | 3   | 1   | 2   | 3   | 2   | 5   | 2   | 1   | 1   | 5    | 3  |
| 3 グループ | 4   | 2   | 4   | 5   | 2   | 3   | 4   | 3   | 4   | 1    | 3  |
| 4 グループ | 3   | 2   | 5   | 2   | 2   | 5   | 2   | 2   | 1   | 5    | 4  |
| 5 グループ | 3   | 2   | 4   | 4   | 4   | 5   | 4   | 1   | 1   | 5    | 4  |
| 6 グループ | 4   | 2   | 2   | 5   | 2   | 4   | 2   | 2   | 1   | 1    | 3  |
| 7 グループ | 3   | 2   | 4   | 2   | 2   | 5   | 1   | 5   | 4   | 2    | 3  |
| 8 グループ | 3   | 2   | 5   | 2   | 2   | 4   | 2   | 1   | 4   | 4    | 4  |

## 設問と答え

- Q 1. 10月3日から適用される、愛媛県の労働者に保障された最低賃金額はいくらでしょう。 **3. 793円**
- Q 2. 伊予市の国民健康保険加入者のうち特定健診（40～74歳）の直近の受診率は？（R元年度） **2. 32.5%**
- Q 3. コロナ禍でリモート（遠隔）授業ができる環境の整備が必要と言われていますが、伊予市内の小・中学校（小：9校、中4校）でのIT（光）環境はどうなっている？ **2. 85%**
- Q 4. 1788の地方公共団体のうち、女性の首長は何名でしょうか？（令和元年6月13日時点） **2. 36人**
- Q 5. 発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合が一番高い国は？（2017年） **4. カナダ**
- Q 6. 伊予市の高齢者率は33.4%（65歳以上、令和2年8月末現在）12,000人余りの方が住んでいますが、このうち運転免許証を保有している方の割合は？ **3. 約6割**
- Q 7. 次の問いで正しいものはどれでしょうか？ **5. 世界の物質採掘量は、2010年には1970年の3倍以上に増加している。**
- Q 8. 家庭系ごみの搬出量、昨年度1年間で伊予市の1人のごみの量は1日当たりで何グラム？ **3. およそ600g**
- Q 9. 国連が発表した2020年の世界幸福度ランキングで、アジア21か国の中で一番だった国は？ **1. 台湾**
- Q 10. 次の問いで正しいものはどれでしょうか？ **4. 世界のインターネット普及率は50%を超えている。（2018年）**

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



グループで相談し、番号札を挙げていただきました。一位になった3つのグループには景品を贈呈しました！



# SDGs「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」とは？

SDGsとは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で示された国際目標です。貧困・格差の撲滅をはじめ、持続可能な世界を実現するために、国際社会全体が取り組むべき目標です。これについて、説明をしました。



## 伊予市での認知度

(2020年 市民満足度調査から)

- ▶ SDGsの内容について
  - ある程度知っている 7%
  - 言葉は聞いたことがある 19%
- ▶ SDGsのロゴについて
  - 見たことがある 26%



## SDGsについて

- ▶ 2015年9月にニューヨークで国連の「持続可能な開発サミット」が開催され、2030年に向けた17の持続可能な開発目標（SDGs）が決められた。
- ▶ SDGsはSustainable（持続可能な）Development（開発）Goals（目標）の略で、エスディージーズと読む。
- ▶ 「2030年に向けて、世界をもっとハッピーにするために、世界が合意した17の共通の目標」のこと。
- ▶ 17のアイコンは世界共通。
- ▶ 17のゴールの下に169のターゲット（具体的な目標）があり、その下に232のインディケーター（指標）が設定されている。



## SDGsの事例：ゴール1 貧困をなくそう

- ▶ 世界で1番の課題とされている。
- ▶ 10人に1人が極度の貧困の中で暮らしている。極度の貧困とは食べ物、電気など、生活にかかる費用を1日1ドル9セント（210円）以下で生活しなければならない状態。そのうちの46%が14歳未満の子どもである。
- ▶ 日本では6人に1人が相対的貧困の中で暮らす。相対的貧困とは日本の平均所得の半分以上の生活を余儀なくされること。
- ▶ 貧しい家庭で育つと教育が受けられず、十分な収入を得る仕事に就くことが難しくなり、親から子へ、貧しさが受け継がれる貧困の連鎖が起こることが一番の問題。



## ウェディングケーキモデル

- ▶ SDGsは経済、社会、環境の3つの分野が互いにリンクしており、それぞれを分けて考えることはできない。
- ▶ 頂点は「ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう」それぞれの層で、世界中の国や人々が役割を理解して、一歩ずつ活動しなければならない。

<ウェディングケーキモデル>



## SDGsは誰ひとり取り残さない -No one will be left behind

- ▶ 地球上に生きる全ての人々のために17の目標達成を目指し、最も弱い立場の人々にスポットライトをあて、誰ひとり取り残さないという強い決意が込められている。



## SDGsで私たちの世界を変える -Transforming our world

- ▶ 世界を生き延びさせるために、未来を生きる人々に、もっとハッピーな世界をバトンタッチするために、まずは今を生きる私たち一人ひとりが変わっていく必要がある。
- ▶ 一人ひとりの生活を自分で見直して一変させることをしないと、地球や人間の生活はもたないという危機感を持って生活していくことが大切。



# 総合計画の見直しの中から8つの検討課題について 問題提起しました

総合計画の達成度合いを「市民満足度調査※」から評価し、市民の方から6テーマ、行政から2テーマについて問題提起し、目指すべき目標についてそれぞれ提案してもらいました。

※市民満足度調査：2020.7月実施 調査票送付数1,500通、回答数556件（37.1%）

## ■基本目標1 快適空間都市の創造

1

### 安全・安心に暮らせる災害に強い まちづくり

＜松本軍団 三塚優氏＞

#### （地域での活動）

- ・上吾川に家を建てて13年。現在、消防団の部長と、青年団を任せ、親の立場として子どもに“楽しいこと”をさせている。

#### （現状）

- ・3年前に上吾川で自主防災組織を立ち上げた。東、中、西地区の3つの防災会があり、区長を本部長とした6つの班に分かれてそれぞれの役割がある。
- ・今年の6月27日に、組織を立ち上げて初めて、防災訓練を実行。内容は、情報伝達の訓練や安否確認の訓練、簡易トイレやテントの設営、使用法の訓練等と、井戸水の汲み上げ訓練等。
- ・総合計画の基本計画には「取組の方針と主要な事業」「成果指数」がある。その中に「自主防災組織防災訓練参加率」を58%から100%にするという目標があるが、今回の安否確認訓練は電話返答が70%あったので、高い参加率だと言えると思う。
- ・3年前に立派な消防団詰所を建設していただき、消防団車両も十分である。防災倉庫も3地区にそれぞれ1個ずつあるので、上吾川では十分な整備がされていると言える。

#### （課題）

- ・訓練に参加した70%は、ほぼ年配の方。5年後、10年後を考えても若い子が参加しないことが非常に残念。年配の人がやってしまうという習慣が残っていることが原因かと思う。

#### （目標）

- ・LINEを含めたツールを使い、若い子も含めて、誰もが参加しやすい環境をつくる必要があるのではないかと考えている。



2

### 循環型社会構築に向けた 環境づくり

＜日本建築家協会 武智和臣氏＞

#### （地域での活動）

- ・建築の仕事をしており、翠小学校の改修にも携わった。子どもと上灘川の水質管理をしたり、ほたる保存会、改修した校舎を案内する等の運動をしている。

#### （課題）

- ・県外からの移住者も増えてきている。周辺の環境をこれからどうやって維持していくか。中心商店街のシャッター通りを、どう再生していくか。また農村部においては、専業農業の方がいない中、快適な農村の生活と景観が守れるのかという課題もある。
- ・伊予市では年4億円ほどの費用をかけてごみを焼却し、ダイオキシンに汚染されている可能性のある焼却灰を年8,000万円ほどで企業に処理してもらっている。他町のリサイクルセンターの取組について聞いたが、ごみ処理についても課題があると思う。
- ・エネルギーについて、自活できるという方向性を持つべきではないか。伊予市で取り組める、実現性のある再生エネルギーは太陽光発電だと思うが、さらなる再生エネルギーの導入も問題になるのではないかな。

#### （目標）

- ・SDGsは他人ごとではなく、自分達の町の再生も、自分達の生活に密接につながっている。連帯感を持って、どうネットワークを作っていくか。一人でも二人でも問題について共通の課題に立ち向かえるようなグループ、ネットワークができれば良いと思う。



3

健やかで生きがいの持てる  
高齢者福祉の実践

＜長寿介護課 福積秀子氏＞

（長寿介護課の取組）

- ・健康福祉都市の創造を基本目標に、健やかで生きがいの持てる高齢者福祉の実践として、  
方針1：介護予防・生きがいづくりの推進  
方針2：地域包括ケアシステムの構築・確立  
方針3：地域で支え合う体制や風土づくり  
方針4：介護保険サービスの基盤整備  
ということで取り組んできた。

（伊予市の現状）

- ・伊予市の8月末の高齢化率は33.4%で、約3人に1人は高齢者。平成23年頃は27.2%なので、急激に高齢化が進んでいる。
- ・生産年齢（20～64歳）人口と65歳以上の人口の割合は、1965年では生産年齢人口が高齢者を9人に1人で支えている状態だったが、2012年頃には2.4人の騎馬戦型の体制となり、2019年には1.5人となっている。
- ・高齢者人口が増え、介護保険の認定率や介護費用も増加傾向になっている。

（介護予防の取組）

- ・介護予防ガイドブックを作り、介護予防に関する情報を取りまとめている。
- ・伊予市独自のミカンまる体操を考案し、周知しているところで、ミカンまる体操の出前講座やDVDの作成と無料配布、ホームページやYouTubeへの掲載もしている。また、いろんな地域の通いの場に出向き、介護予防教室をしている。

（目標）

- ・高齢者だけではなく、若い世代の方には介護予防や介護保険について知ってもらう。元気な高齢者には支え手にまわってもらい、伊予市でいつまでも元気でいきいきと暮らし続けられることを目標にして、個人、また地域で介護予防の取組をしていくことが必要。
- ・介護予防の取組がなかなか浸透していかないの、周知する方法について知恵をいただいて、実行していきたい。



4

心の通った社会福祉の増進

＜福祉課 隅田知秀氏＞

（福祉課の取組）

- ・福祉に関する相談等を受けている部署。総合計画では、心の通った社会福祉の推進を目標に掲げている。
- ・一昨年から福祉総合相談窓口として、『まると相談窓口』を設けている。福祉に関して、どこに相談したら良いのかわからない相談を受け、関係機関等の協力を得て支援を行っていく体制を整えている。

（課題）

- ・少子高齢化や生活困窮、引きこもりなど、多様化・複雑化するニーズに対して、地域のつながりの希薄化や、地域福祉活動の担い手が少なくなっている課題がある。
- ・地域福祉の推進を図る上で、地域福祉情報コミュニティの整備や地域福祉活動に対する意識の向上を目指したボランティアの参加の推進などが必要になると思う。
- ・地域福祉活動実施箇所数やボランティア等の参加人数については、サロンの設置場所は地域が固定されており、ボランティア参加者も固定化している現状がある。

（目標）

- ・地域の福祉意識の向上を図るためには、地域の支え合いネットワークの構築が重要になる。地域の皆さんが少しでも福祉に対する意識を持つことで、例えば「最近、近所のおばあちゃん見なくなったね」とか、「あそこの息子さん、仕事辞めてからずっと家にいるみたいで姿を見ないね」など、少し気になることがあれば、早期に地域での見守りや、相談機関につなぐことができればいいと思う。
- ・『まると相談窓口』のような身近な相談体制を整えて、整備をしていくことができれば、暮らしやすい福祉の社会になっていくのではないかと。福祉の推進に関してどのようなことが必要か、皆様のご意見、ご助言をいただきたい。



5

生涯にわたり学習できる環境づくり

＜社会教育委員 森田清延氏＞

（地域での活動）

- ・社会教育委員と併せて双海地区の公民館長もしている。

（現状）

- ・教育は家庭教育、学校教育、社会教育に大別されるが、社会教育で使う言葉に「家庭教育で芽を出し、学校教育で花を咲かし、社会教育で実を結ばせる」というプロセスがある。教育で考えればそうなるが、「生涯にわたって学習できる環境をきちんとしなければ一人ひとりの心の豊かさは実を結ばない」という考えから生涯学習社会という言葉が出ている。
- ・市の基本計画に生涯教育都市の創造とあるが、生涯教育なのか生涯学習なのか。教育とは教える者がいて受ける者がいるということで、学習は一人ひとりの支援をしていくこと。世の中の流れとして、市民一人ひとりが自分の目標、目的に合った学習をいつでもどこでもできるというのが願望ではないかと思う。

（課題）

- ・地域の公民館活動、市のレクリエーションサークルからIYO夢みらい館のような基幹文化施設での活動もあり、自分に合った学習をどこでどうするのかを考えないといけない。
- ・特に公民館活動について、伊予市には6つの地区館があり、それぞれで同じようなことをしているがやり方が違う。合併して15年になるので、どこかで線を引き、ある程度基準を設け、その上で地域の特性が活かされる公民館活動ができれば学習の機会がどんどん増えていくし、地域の皆様の役に立つと思う。
- ・サークル活動が「知る人ぞ知る活動」になって広がらないところも悩みではないか。

（目標）

- ・学習された方達が蓄えた知識を自分だけにとどめるのではなく、どんどん他の人に伝えていく。社会活動に貢献する知識を身につけて知の循環型社会をつくっていくことが、生涯にわたり学習できる環境づくりの一番大切な目標ではないかと思う。



6

個性豊かな文化の振興

＜文化協会 松田新一氏（扶桑太鼓）＞

（地域での活動）

- ・文化協会、扶桑太鼓の活動をしている。
- ・このコロナ禍においても、昨日は東温市でコロナ対策を万全にして、2時間ほど夜のコンサートをしてきた。
- ・扶桑太鼓では子どものチームから大人のチームに上がっていくというチーム作りをしていて、地域文化の担い手確保がどこまでできていない中、そこは成功したと言われて、全国的にもこのやり方で有名になっている。

（課題）

- ・全国的にも文化を次につなげていくことが難しいことが明確に出ている。
- ・文化には有形文化財と無形文化財がある。その中で、和太鼓など音楽的なものは無形文化財で、古い建物や神社は有形文化財である。そういうものを残していくには、もちろん人が残していかなければいけない。報告会はやっていると思うが、特に有形文化財は物があるので、勉強会をするのが一番良いと思う。

（目標）

- ・無形文化財として伊予市の総合文化祭に力を入れているが、人を寄せる力、魅力がないといけない。これからの担い手にも、「これは面白いよ」という魅力ある、夢ある、ロマンあるようなものでないと、なかなか人が集まらないのではないかな。
- ・次の世代に文化をどうつなげていくか。扶桑太鼓のやり方はあるが、さらに皆さんのご意見をいただきたい。
- ・活動場所を確保できない団体が増えているが、「知る人ぞ知る」ではダメなので、もっとそういうことを活発化させて、活動する場所を確保してもらいたい。





7

活力ある商業・工業の振興

＜みなみ地域振興会 門田眞一氏＞

(現状)

- ・新型コロナウイルス感染の中でいろんな活動が制限されている。それが経済活動の縮小や停止に連鎖して企業の倒産、廃業、失業、収入の喪失、自殺者の増加にもつながっている。そういう危機感の中で伊予市をどのように持続可能にしていけるかが問われている。
- ・伊予市の中心商店街は今から15年前、155店舗あったが今は94店舗。廃業、消滅が61店舗で4割減った。空き店舗は27～30軒程度でほとんど変わっていない。住宅が60軒から90軒になっている。医者が2つなくなり、地域に必要なサービスそのものがなくなっているという問題がある。
- ・伊予市の地域経済循環率<sup>\*</sup>は2015年で79.2%。稼ぐ力の弱さと所得が漏出していることがわかる。お金がどう地域の中でまわっているかを分析をし、どうすれば地域の所得や生活向上につながるかに目を向けないといけない。  
※地域経済循環率：生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値で、地域経済の自立度を示す。

(目標)

- ・岡山県真庭市ではバイオマス発電し、エネルギー自給率は11.6%。電気、石油、石炭、ガスの電気代金の流出金額は、かつては68億円だったのが47億円まで下げている。伊予市の再生可能エネルギーを増やせば地域内にお金が落ちるので、経済の面からも考えたい。
- ・町の中の歴史的な建物や民家が使われていない。今あるものを活かしていくことを、民間レベルのものを入れて具体的なプロジェクトを作って進めていく必要がある。地元の物が買い物の中で消費者と結びついて循環するような具体的な事業も良い。
- ・稼ぐ力を増やし、漏出を防ぐ。新しい産業を育てることがどうしても必要。
- ・地域循環率を100%にするよう、2030年に向けてどうしていくか。非常にハードルは高いが、そういう視点で今の施策を見直したい。



8

賑わいのある観光の振興

＜地域おこし協力隊 上田沙耶氏＞

(地域での活動)

- ・地域おこし協力隊という市役所の臨時職員。今は青山学院大学の4年生をオンラインで受講している。今春から祖父母の家がある伊予市双海町に移住してきた。
- ・昔から良い町だと知っていたが、実際にはどんどん寂しくなっているのが現状で、好きな町をこのままなくさないようにしたい、祖父母が営んでいる商店も残したいという思いで来た。

(現状)

- ・双海町はとても良いところで、日常の素敵なことを発信している。友人も感動して、行ってみたいと言ってくれるので、双海町の魅力が伝われば確実に人が来てくれると思う。
- ・双海町の受け入れ体制は全く整っていない。JR下灘駅にたくさん人は来るが、下灘珈琲しかお金を落とすところはない。ふたみシーサイド公園も夕日の時間には全部閉まっていて、期待とのギャップがすごくあると思う。
- ・双海町にはいろんなお店や人がいることが魅力だが、不定休だったり閉店時間が早かったり、外から来る人の期待に応えられていない。そこをうまくつないでいく必要があると思う。
- ・情報がネットで調べても出てこないのも、地道なことから設計していくことが大事。

(目標)

- ・点在する魅力を線でつなぐ仕組みを作り、情報発信して、双海町、伊予市をどう回れば良いか発信し、その受け入れ体制をしっかりと整えていくことも大事だと思う。
- ・今の時代は仕事をしながら旅行に行くような人も増えている。双海に1週間ぐらい居て、海を眺めながら仕事をしてもらうことも、こちらの受け入れ体制が整っていたらできると思う。来てもらえたら、移住までいかなくても双海町と関係ができて好きになってもらえるし、友達を連れてきてくれるなど、好循環が生まれると思う。



# 伊予市総合計画とSDGsを関連付けよう！

検討課題と達成目標を決めた後、より具体的な問題や改善のためのアイデアをポストイットに書き出し、SDGsとの関連づけをしながら内容を整理しました。

1

検討テーマ：防災訓練の参加率向上

グループ

達成目標：地域の特性に合わせた防災訓練の実施→地域防災リーダーの育成

## 目標4 質の高い教育をみんなに

- リーダーをしっかり決めて
- 防災リーダーの育成（若い者の防災意識の向上、防災訓練等への参加）
- 災害の危機感を感じられる体験的教育

## 目標11 住み続けられるまちづくりを

- 災害種類（火災、地震など）ごとの避難経路マップの作成
- 地域住民一人ひとりに「避難カード」を用意する（名札のようなもの）。

## 目標10 人や国の不平等をなくそう

- 防災専用の伊予市発のメールアドレスとLINE IDを作り市民に登録を呼びかける  
↓  
災害発生時にも有効。防災訓練の呼びかけにも使え、若年層もつながれるかも？
- 防災訓練の発信をメールやLINEで。
- 電柱に「現在地の避難場所は○○」の表示をする（海拔○○メートルの下あたり）」
- 災害時の支援物資の配布方法の確立→防災訓練で物資配布の訓練も行う。
- 各家に有線を！

## 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

- 近所の方の名前、家族の人数を知る。
- 各地域でのコミュニティの場をつくり、一人ひとりの名前を知る。
- 賞味期限になる備品で炊き出しを行う。
- 「たきだし」で参加率向上？
- 各地域の特性と起こり得る災害を共通認識として住民が把握する。
- 地域住民と外部の専門の方による地域の課題の検討、協議。

2

検討テーマ：更なるごみの減量化。再利用化の必要性。

グループ

達成目標：各地区にリサイクル施設の設置→分別・リサイクルの学習・指導機能

## 目標12 つくる責任つかう責任

- ごみ置き場を常にきれいにする。
- ごみを日常生活で上手く活用
- ごみステーションの型式を市である程度、統一してほしい。
- ごみを出さない方法。稲わら、麦わらの活用。
- ごみ排出量によって減税措置をする。
- 生ごみ、ぎゅーっとしぼり！（燃料の削減）
- 残った生ごみを集め、堆肥化できる仕組み。
- 分別の正しい理解、判断。
- 使える電化製品を市役所が引き取ってくれる。
- 近所の人と必要な物を交換する。
- 紙類の結束はビニールテープでなく、紙のひもでしぼる。
- 段ボール紙のリサイクルで景品、金銭と交換。
- 建設時に使用する材料を再生品&土に帰る材料に。
- スーパー、販売店に家庭ごみを分別し、持ち込める仕組みを作る。
- 各家庭でごみ排出量を測定可能にする。
- ごみ処理の達成の分かる表示。
- ごみの重さを量る→一定の重さ以下の排出量であれば、市から特典等がある…
- リサイクルするとお買い物ポイントがもらえる（スーパーなどで）

## 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

- リサイクルセンター→高齢者の雇用創出。市民交流の場。
- リサイクルを必要とする者との交流の場。リサイクルの技術、手法を教える場。
- 建築自体もリサイクル材料。



達成目標：・声かけ、あいさつ ・地域の連携  
・グループの付き合い ・運動できる場の提供（集会所など）

### 目標3 すべての人に健康と福祉を

- 集会所などでサークルなどをする。
- 集会所などでカラオケ、花、茶などをする。
- みかんまる体操、健康体操、笑い、ヨガなど、集会所で行い、又参加したいと思えるように！
- 朝のラジオ体操、みかんまる体操を定期的にする。
- ラジオ体操を努めてして体を鍛え、みんなとコミュニケーションをとる。声かけする。
- みんなで歩く、散歩する。
- グランドゴルフ（会員約100人）、北山クラブ（本を作成）
- グランドゴルフ場（しおさい公園）の活用
- グランドゴルフをつくる事
- フェイスブック

### 目標11 住み続けられるまちづくりを

- 高齢者の家をまわるキッチンカー
- 若い人と高齢者が一緒に集える場を持つ。
- サロン
- 地域の若者との交流が増加
- 一人暮らしの方に声をかけて、サロンに参加してもらって、近所で助け合っている関わりを深める。
- 回覧板を回すときに声かけをする。
- 集会所で活動できるといいかなあと思う。公民館だと遠くて参加出来にくい。
- 地域の小学生と地域のゴミ拾い
- 地域共同で使える畑をつくり、共同栽培。
- 高齢者が移動する手段（足）を充実させる。
- できる範囲で自分でできることをする。自分で調理して食べることを。
- 自分から「年だから」と言わず、人とのふれあいに出て行く様に努める。
- 施設に入らないよう、がんばる。
- 地区ごとにより細かくグループ分け（バディ制等）
- 高齢者（独居宅）の家の確認をする。地図をつくる（地域で）。
- 活動場所に空き家を活用する。
- 空き家を使った運動教室。
- コロナ禍でも集まれる環境を。
- 公民館の使用料をタダにする。

### 目標4 質の高い教育をみんなに

- P C、スマホの使い方を教える。
- 中学校でP Cスキル等、情報リテラシー教室  
→高齢者も参加
- スマホ教室の実施（孫と連絡が取りたい）  
→孤独死防止

### 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- インターネット環境の整備
- オンライン通話。ネット環境を整えて、いつでも話ができるように。
- 活動紹介を活発に行う。

### 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

- 地域住民総出のイベント等の開催
- 地域でお花見
- 地域内を散歩するプチイベントを行う。
- 歩こう会（ウォーキングクラブ）の結成!!
- 運動だけでなく、コミュニケーションをとる機会をふまえる（お茶会）。
- 学生が運動指導を行う。
- 高齢者の運動会（運営は若者）

### 話し合いの進め方

- ① 関心のあるテーマを選び、8つのグループに分かれました。
- ② グループごとに検討課題と達成目標を決めました。
- ③ より具体的な問題や改善のためのアイデアをポストイットに書き出しました。
- ④ 2回の席替えをし、他のグループのテーマに対して、課題解決につながる具体的な提案を出し合いました。
- ⑤ 元のグループに戻り、SDGsとの関連づけをしながら内容を整理しました。

## 4

## 検討テーマ：心の通った社会福祉の推進

## グループ

## 達成目標：世代間の関係構築

目標1 貧困をなくそう 目標2 飢餓をゼロに 目標3 すべての人に健康と福祉を

目標4 質の高い教育をみんなに 目標5 ジェンダー平等を実現しよう

目標11 住み続けられるまちづくりを 目標12 つくる責任つかう責任

○民具、昔話、歴史と人の一生を伝える！質の高い教育。

○学校教育にもっと福祉を。

○高齢者の知恵を子どもに教える機会、場の提供。

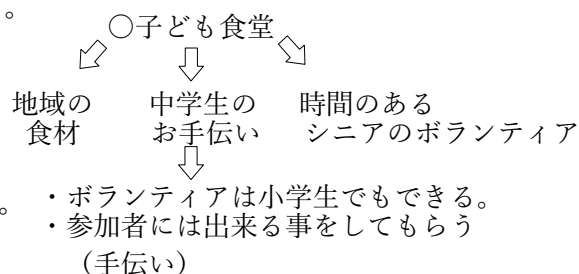
○集まる場所の環境

○男性の参加も促したい(参加するきっかけづくり)

○社協の事業でいきいきサロンのますますの推進を。

○あいのわ ボランティアの会。発想はよいが？

○若者と高齢者が共に行うイベント数の増加



## 目標11 住み続けられるまちづくりを

○ネット環境

○災害時にも声掛けしやすい関係づくり

○無理のない中での活動の継続。住んでいる地域の環境も？

○各家族社会の中で、私共は高齢者3人暮らし。子ども達、孫達は年に2回程度の顔見せ。心細い。心の通いにくい社会。

## 6

## 検討テーマ：伝統文化の発信

## グループ

## 達成目標：文化を知り、広げる

## 目標2 飢餓をゼロに

○県外から来た学生と協力して、改めて伊予市の魅力を知る。

○長年、伊予市に住む人が子どもたちに"伊予市の魅力"を伝える機会を作る。

○新しい文化の発見、発展

○他県、他地区の人間に伊予を評価してもらう。他人に視点による発掘。

## 目標11 住み続けられるまちづくりを

○地域住民による文化財ガイドの実施

## 目標5 ジェンダー平等を実現しよう

○お祭りに女性は参加できない。広げる可能性。

## 目標4 質の高い教育をみんなに

○学校のHPにのせてもらえるように、コロナが収束すれば連携イベントを催して、その後、担任にアップロードしてもらう。

○小学校(伊予市に限らず)にプリント配布(家庭数)することで、1人に対して渡せば、2人、3人、4人にわたる可能性がある。

○小学生、用事への伝え方

○古い文化は新しい文化と混ぜて残る。または発信できると考える。

## 目標17 パートナリシップで目標を達成しよう

○若者が知る機会を作る

○映画撮影ロケ

## 【その他】

◆関わっていない人をどう巻き込むか、その方法？

◆市役所のホームページの情報充実

◆文化活動団体の整理

◆文化、行事を具体的に取り上げ調査、研究する。

◆民間レベル、行政レベルで発信。

◆文化資源を活かしたツーリズム

◆有名YouTuber(伊予市の)数名に広めてもらう。

◆ドローンを使用した映像撮影

◆インパクトの残る発信の仕方(魅せ方にこだわる)

◆若い人たちのボランティアもしくは学生を募って、その人たちがInstagram、Twitter、YouTubeに週に2回アップロードする。

◆文化財を増やしていく。

◆建物のDataの残し方。SNS、YouTube

## 5

検討テーマ：生涯にわたり学習できる環境づくり

### グループ

達成目標：施設（学習の場の充実）と組織のネットワークづくり  
・各種団体（公的）、NPO法人、地域、町内会、民間サークル  
※新しい組織を

#### 目標4 質の高い教育をみんなに

- 中学校の生徒とPC、スマホ学習
- 市内の教育施設、小・中・高の施設連携（実習室など）
- 専門学校、大学と連携
- 大学とのタイアップ（内容、講師）
- 部活にない競技や芸術を学ぶ小・中学生にスペースを提供。利用しやすく。
- 図書館の蔵書数の増加
- 図書の実用を図る
- 図書館の本の出張貸し出し

#### 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- 学習する情報提供。テーマ毎に整備して情報発信（IT,web）。歴史、文化的。コンテンツの発信（Web.SNS.インスタ）
- 各種講座の広報を定期的に。
- 公民館のインターネット整備（TV会議等）
- インターネットを利用した学習の増加
- 施設のIT環境の整備（公民館等）
- 施設（教育）のIT化の整備
- Wi-Fiの充実

#### 目標11 住み続けられるまちづくりを

- その施設に行く時の交通手段があれば、より利用しやすい。
- 足が無くても行きたくても行けない人は、どの様にして動いてもらうか。
- サテライトの設置
- 公民館以外の利用増（市の施設）
- 公民館以外での学習のできる場の提供
- 空き家等を利用して学習（なんでも）が出来る。
- 住民が自然と集まるスペースづくり
- 公民館の利用率の増加
- 時間も色々あってもいい。平日、昼間、夜、日祝など。
- 利用を高める為に無料に戻すなど。
- 学習結果の発表の場作り
- 普段から話し合い（ディスカッション）の場として提供
- 地域の人や技能などの利用
- 社会教育（公民館活動を中心に）を推進できる専門職の育成
- 生涯学習を支援する組織作り
- 住民自らが地域課題に取り組むための組織づくり

#### 目標5 ジェンダー平等を実現しよう

#### 目標8 働きがいも経済成長も

#### 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- スマホ教室の実施
- PCスキル教室の実施
- 住民の学習意欲を高めるための学習プログラム作り
- 主婦の社会復帰のサポート（学習）
- 副業につながる学習内容の講座
- お試し講座があるといいな。
- お友達と行けるもの（学習内容によって）
- 健康維持促進のための食事、軽運動教室
- 学習を促すパートナーづくり（コーチング）
- 催しを公民館単位で行う。
- 芸能文化学習（イベントコンサート企画）
- 体験型学習（ワークショップ等）
- 体験学習の充実
- 公民館等施設の活用。
- 遊休地を用いた農業体験学習（宿泊プランなど）
- 他地域の取組を知らせる

席を替わりながら  
たくさんアイデアを  
出し合いました！





# 7

検討テーマ：・新規事業の創造、企業誘致  
・働きがいのある人間らしい仕事ができる

## グループ

達成目標：・企業誘致の実施  
・働き口の確保  
・地域経済循環率100%

### 目標7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- バイオマス発電
- バイオマスボイラーの普及事業の検討

### 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- 「食」関連のサテライトオフィスを開設する。
- ジビエ作業所。今は全部焼却処分している。  
イノシシ。
- 「ローカルビジネスベンチャー塾」を開設する。
- 「IT、デジタル人材養成学校」を誘致する。
- 強い企業の機械などをつくる企業の誘致。
- 地場産業を応援する。
- 伊予市の強みである農業、水産業をもっと拡販できる、新しい仕組みづくりが必要。
- 下灘ラーメンをつくる。
- 伊予市には食べ物を提供する場がない。花かつお、じゃこ天ではないもの。
- 伊予市の食材のみを取り扱う企業（店）
- 伊予市の食材をネット上で売っていくスタイルを新しい企業がもつ。
- 絵や音楽などアートの得意な愛媛の人材を集め、発信する。
- 地域の企業を有効活用する。
- ハモ○○でB級グルメ出店。
- 伊予市の良さを伝えるため、伊予、双海、中山など各地域で連携し、観光コースの整備とコースづくりをし、観光での収入upと働き口の確保を実現させる。

### 目標8 働きがいも経済成長も

- かつおぶし関連の商品（おかしやその他）を増やす。
- 市や行政が市の強み「カツオ節産業」などをもっと広めることに力をいれる。
- 働きやすい、生活しやすい土地であることを知ってもらえるようにアピールする。
- 兼業サラリーマン、個人事業創造。飲食、カフェ、古本屋さん。
- 大規模なインターンシップ就活イベントを行う。
- 伊予市が生産したものを売るための戦略にたけた人材を派遣する（ネットを駆使して、地方で成功事例のある人）。

### 目標11 住み続けられるまちづくりを

- 伊予市で起業する人の支援のあり方を考える。
- 故郷に帰って来たいと思うものはないでしょうか。遊園地、海浜公園など、桜を植えてみるとか。
- 湊町の空き地に、公園は出来ないものでしょうか。
- 通勤時間、短め
- 釣スポットをつくる!!
- 娯楽施設を増やす（アウトドア系）



1グループ

2グループ



4グループ



3グループ



検討テーマ：賑わいをつくるためには、そもそも"観光とは"を考え直す必要があるのでは？

## グループ

達成目標：・伊予市の関係人口、交流人口（伊予市ファン）増加  
・伊予市の賑わい、盛り上がる。  
・中山は道の駅も一過性。桜も見ただけで何も無い。

## 目標4 質の高い教育をみんなに

- 伊予市を修学旅行の行く先に！コロナだからこそ近場で。
- 牛ノ峯のお地藏さんを潮風ふれあい公園におろす！文化財になる？
- 河原学園中山校
- 伊予市の小さなまつり、イベントを探す（昔の）

## 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- SNSの写真、動画の充実で、伊予市の見せどころをネット上につくる。現実はあるから…（笑）
- 電車で行ったその先
- 中のインフラを整備

## 【その他】

- ◆尾道は何も特にないのになくたくさん人がきて歩く。
- ◆地域ブランディング
- ◆地域ごとに88ヶ所があるとか。小さなよいところはあつなぐ
- ◆店に来た人に、ちがう情報を渡す必要。
- ◆観光ルートを作る。ふたみ満喫きっぷ。
- ◆利便性を体感できるツアー
- ◆初めて来た人でも分かるMAPを作る。
- ◆観光客用の伊予市のマップを作る。
- ◆下灘駅にMAPを置く。
- ◆目的を店にする。
- ◆受け入れる側とのギャップ。ヤル気、できるコトはいい。

## 目標8 働きがいも経済成長も

- お店を磨きあげる。
- 下灘駅+α 滞在する理由。

## 目標14 海の豊かさを守ろう

## 目標15 陸の豊かさを守ろう

- 木々の間に紅葉でもあったら…
- 地元の人には置いてけぼりか？
- 気候の穏やかさの可視化

## 目標12 つくる責任つかう責任

- 空き家とやりたいことがある人をつなぐ。
- 空き家、店舗を1日だけでもあけてもらう。
- 荒れ地、空き家、店舗をパブリックに開く！
- 他の市町村と連携することで1泊してもらう。
- 今、空いている家や施設を活用してゲストハウス化。
- 宿泊施設を増やす。
- ゲストハウス

- ◆スポーツなど、どこでもできるものを観光の売りに変える。
- ◆宿泊施設の面白さを売りにすることで、どこか観光地を求めるのではなく、施設の充実を図る！観光。
- ◆有名な文化財をつくることで、それを目的できっかけはできる。
- ◆伊予灘ものがたり



5グループ



6グループ



7グループ



8グループ



# 目標達成のためのアクションプランを提案

目標達成のためのアクションプランをスケールマップに展開してまとめ、全体場で発表しました。

## 1 グループ

### 「地域の特性に合わせた防災訓練の実施」

#### 自分自身や家族でできること

- 各家庭で緊急速報が聞こえるように有線を整備する。
- 備蓄品の用意（食料・水・その他もろもろ）
- 各家庭で避難場所を含めた話し合いをし、共有する。
- 避難場所への利用時間、道を確認する。

#### コミュニティで取り組むこと

- 世代間や近所で話し合いの場を設ける（例：飲む、食事）
- 普段からあいさつをする。
- 近所の家の家族構成や人を把握する。



#### 伊予市全体で取り組むこと

- 危険地域の把握を市として行う。
- 防災マップの充実（一家に一冊）
- 他の市町村の良い例をまねる。
- 電柱＋壁に避難場所（～m先避難場所、海拔～mなど）
- 伊予市でLINEの活用
- 防災士を呼んで講習会を開く。



#### 愛媛県の問題として取り組むこと

（発表から）  
コミュニケーションの場が近所に少ないので、話したり飲んだり食べることも含め、コミュニケーションをとったら良いと思います。意外と避難場所を分かっていないことがあるので、海拔何mと書いてある電柱に、避難場所とそこまでの距離を表示してはどうか。愛媛県の問題として取り組むこととしては、防災に関する情報については県から情報が下りてくることも多く、調べたいこともホームページにたくさん出ているので、特に意見としては出ませんでした。

## 2 グループ

### 「①ごみゼロ化・再利用環境の整備 ②安定、安全な水の確保」

#### 自分自身や家族でできること

- 本当に必要かどうか。保存期間のcheck。
- ごみ置き場を常にキレイにする。
- 分別の正しい理解、判断
- ごみの分解ではなく捨てない努力。
- ごみを出さない方法。稲わら、麦わらの活用
- 残った生ごみを肥料化（コンポスト）できる仕組みを導入。
- 紙類のごみ袋は紙製のひもで（ビニールではなく）。
- 生ごみを、水分を減らすべく、絞って出す。
- 建設時で使用する材料を再生品、土に還る素材に。（届出制）

#### コミュニティで取り組むこと

- 近所と必要な物を交換する。
- 各地区にリサイクル施設の設置
- ダンボール、新聞、雑誌のリサイクルで景品、金銭と交換。
- 寄り合い、組寄りでごみの処理、エコライフの学習会



#### 伊予市全体で取り組むこと

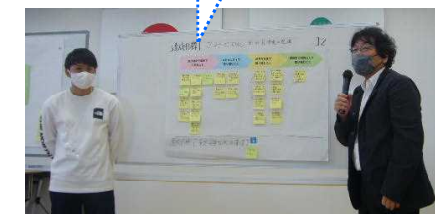
- リサイクル、ごみの量を減らすと特典がもらえる仕組みを作る。  
＝各家庭でごみの排出量を測定可能にする
- リサイクルするとお買い物ポイントがもらえる。（スーパーなどで）。
- スーパー、販売店に家庭ごみを分別し持ち込むことができる仕組みを作る。
- リサイクルセンターの設置→雇用、交流の場の創出
- 使える電化製品を市役所で引き取る
- 市内の事業者からのごみの実体把握＋フードロス
- ごみ焼却場、プラントの整備。脱ダイオキシン!! 焼却灰のリサイクル。
- ESD（持続可能な発展のための教育）を通して、子ども達にエコライフの教育を

- 浄水場がほしい。

#### 愛媛県の問題として取り組むこと

- リサイクル、ごみの減量、分別を促す。（テレビ、CM等で）

（発表から）  
ごみの減量化、再利用化の目標から話し合いを進めましたが最終的には「ごみのゼロ化・再利用化」を目標としました。ので、特に意見としては出ませんでした。松山市ではごみ焼却エネルギーをリサイクルしています。伊予市の焼却場は数年前に改修工事をしたはずですが、減価償却が終わった段階で、エネルギーのリサイクルへの切り替えを検討することを提案します。





### 3 グループ

### 「高齢者が健やかに過ごすためには」

| 自分自身や家族でできること                                                                    | コミュニティで取り組むこと                                                                            | 伊予市全体で取り組むこと                                                                           | 愛媛県の問題として取り組むこと                                                                   |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○ラジオ体操をしよう！</li> <li>○歩数を増やそう！</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなでグランドゴルフ</li> <li>○ミカンまる体操をしよう！</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○愛媛大学との連携</li> <li>○高齢者と若者の交流のパイプづくり</li> </ul> |                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○趣味を見つける！</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○趣味を共有できる場をつくろう</li> <li>○空き屋を利用しよう！</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○公民館使用料をタダに！</li> </ul>                         |                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○「おせっかいおばさん」になろう!!</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の行事をつくろう！</li> <li>○地域共同で使える畑で共同栽培！</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人暮らし高齢者のマップを作ろう</li> </ul>                    |                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○スマホ、P Cを使いこなそう</li> </ul>                |                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティバスを使いやすくしよう</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネット環境の整備</li> </ul>                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○食事の管理</li> </ul>                         |                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○介護サービスの充実</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通機関の充実</li> <li>○施設のバリアフリー化</li> </ul> |



(発表から)  
自分自身や家族ができることとして「食事の管理」を一例で出していますが、してもらばかりではなく、自分でできることは自分ですることによって、年を取っても元気に過ごしていけるのではないかと思います。

### 4 グループ

### 「世代間の関係構築」

| 自分自身や家族でできること                                                                                                                                  | コミュニティで取り組むこと                                                                                                              | 伊予市全体で取り組むこと                                                                                                                                                      | 愛媛県の問題として取り組むこと                                                                             |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ＋一言</li> <li>○野菜のおすそわけ</li> <li>○サロンへの参加、誘い合い</li> <li>○親→子ども 助け合いを伝える</li> <li>○行事への参加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども食堂</li> <li>○若者と高齢者が共に行うイベント増</li> <li>○地域行事の継続</li> <li>○シニアへのスマホ講座</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア参加の促進</li> <li>○ネット環境の整備</li> <li>○情報発信</li> <li>○空き地、市民農園→交流</li> <li>○公民館の使用料 減額or無料</li> <li>○情報共有→支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校教育にもっと福祉を取り入れる</li> <li>○キャリア教育 大人の関わり</li> </ul> |



(発表から)  
総合計画の成果目標について、数値は高いのに満足度につながっていないので、地域のコミュニティやネットワークづくりに力を入れたらどうかと考え、「世代間の関係構築」を達成目標に挙げました。  
アクションプランとして、子ども食堂を開催する、若者と高齢者が共に行うイベントを増やす、スポーツイベントなどを行う、地域行事を継続する、シニアのスマホ講座を若い方の協力で開くなど、コミュニティの場をつくれたら良いということが出ています。

## 5 グループ

### 「学習の場充実のための施設と組織のネットワークづくり」

#### 自分自身や家族でできること

- 地域での学習会やコミュニティを作る場には積極的に参加する。
- 施設の利用回数を増やす。
- 公民館に行ってみる。
- 地域学習のため、地域の歴史、史跡を廻る。
- 環境学習の実施（体験講座の実施）
- 自ら奉仕体験、自然体験等の体験をし、その成果を周囲に伝える。
- 各種会議や集まりに参加すること。世話や役を引き受ける。
- 得意分野があるならば、講師のサポートを行う。
- 有用な学習内容の講座があることを情報発信。
- 部下（職員）の公民館職員としての力量を高めるために、指導や技能の伝達に努める（公民館長として）
- 学習意欲を高める。

#### コミュニティで取り組むこと

- 愛媛大学と伊予市の連携の可能性を探る。
- 教育機関のサテライトの設置（大学）
- 1つの施設の借用費用で、複数施設を使用出来るようにする（講師）。
- 学びたい事項の要望調査（アンケート）
- 世代間交流の促進（子どもを中核として）



#### 伊予市全体で取り組むこと

- 教育機関同士の繋ぎ役の統括組織をつくる。
- 企業連携、協力依頼。行政より依頼する。
- 学習活動の取りまとめ。内容把握、分類。
- 生涯学習を推進するための人材育成。
- 外部の文化活動の連携、交流の調整。演芸会、コンサート、講演会。
- 公民館組織を中核とした住民主体の自治組織をつくる。
- 施設の使用を伊予市が知らせる。
- 生涯学習のためのハードウェア（建物、インターネット、サテライト）、ソフトウェア（外部組織との連携）を充実。
- 私立小・中学校の誘致



#### 愛媛県の問題として取り組むこと

- 「生涯学習」を地域活性化と関連付ける政策作り

#### （発表から）

高齢者だけが対象ではなく、幼少の頃から死ぬまですと学習し続けるということで、「学習の場充実のための施設と組織のネットワークづくり」を達成目標として考えました。

教育機関同士は基本的にはバラバラで、それぞれの施設で講座・教育をしています。それを統括できるようなネットワークの管理組織をつくり、その中で生涯学習を推進するための人材育成も行えば良いと思います。

愛媛県全体として生涯学習をしっかりと理解し、大切なものだと考えて、地域活性化の特色として関連付けて政策を作っていただきたいと思います。

## 6 グループ

### 「伝統文化を知り、広げる」

#### 自分自身や家族でできること

- SNSで感想を書く。個人の情報発信。
- 伝統文化に興味を持つ。

#### コミュニティで取り組むこと

- インパクトのある映像を撮影し、発信する。
- 参加機会を保障する。
- 世の中の流れに乗せた発信



#### 伊予市全体で取り組むこと

- 市役所のHPに文化財情報をまとめたのせる。
- ユニークな文化の発掘、紹介。
- 小・中学校との連携



#### （発表から）

伊予市にはたくさんの文化資源、伝統文化がありますが、それを地元に住む人や他の人がきちんと知って周知して広げないと、伝統文化の担い手と呼んでくることもできないと思い、広げるところまでを目標に掲げました。

伊予市のホームページに文化財情報をまとめ、すぐに調べられるような仕組みをつくることも大事だと思います。また伊予市を訪れても、文化財が点在して、どこに何があるかわからない状況があるので、文化財を巡るツアーができれば、より伊予市の文化財についても知ることができるのではないかと考えました。



## 7 グループ

### 「企業誘致の実施 働き口の確保 地域経済循環率100%」

#### 自分自身や家族でできること

- 伊予市で消費
- 伊予市の食材を積極的に買う（伊予市ブランド）
- SNSを通して伊予市の認知を図る。
- 伊予市で働く！
- 伊予市の有名スポットを巡る。

#### コミュニティで取り組むこと

- 楽しい場所をつくる（音楽、飲食、文化など）
- 地元についての教育
- キャリア教育
- 伊予市について討論

#### 伊予市全体で取り組むこと

- 学校教育で、伊予市で働く魅力付け
- 伊予市の企業を知ってもらう ex)訪問
- 移住希望者の移住サポート
- インターネットを利用したPR。CMなど。
- 企業の誘致
- 企業を誘致するための空き地の紹介
- 子育て環境をもっとよくする。女性が働きやすい環境づくり。
- 地元企業とのコミュニケーション強化
- 新規企業のサポート
- 伊予市の強みを活かす政策づくり（食品、農業など）
- 観光スポット及びコースの充実。観光収入の増加。
- 伊予市の名物になる食べ物をつくり、発信し、広める。

#### 愛媛県の問題として取り組むこと

- 高齢者、健康、福祉支援の充実
- IT人材養成センターの充実
- 高齢者が働き続けられる環境づくり
- 企業の強みをつなげることで新しい技術、形を創造するような仕組みづくり。



（発表から）  
達成目標の「働き口の確保」を中心に考えました。  
これらの取り組みをSDGsに重ねてみると、愛媛県の問題として取り組むことでは【ゴール3 全ての人に健康と福祉を】が、全体的には【ゴール11 住み続けられるまちづくり】が、今回の話し合いで重視されたSDGsの目標だと感じました。



## 8 グループ

### 「伊予市が好きな人を増やし、賑わいを作る!」

#### 自分自身や家族でできること

- 伊予市内で消費する。
- 公共交通機関を使う。
- 友人を外から遊びに来させる、泊める。
- 伊予市の良さを考える。
- 伊予市住民が思う伊予市の魅力を考えなおす。
- 地元自慢
- 地元を知る
- 地元を楽しむ！
- ちょっとしたおもてなし  
（伊予灘ものがたりに手を加えるとか）
- 風景にたそがれる
- 小さな夢を口に出す！  
→だれかが一緒にやってくれる
- 町の人とお話をする。
- 地元のイベントを知る！知りに行く！
- 若者がSNSとかを使って発信する！  
（近所の魅力）
- 空き家情報を「いよりん」に伝える！

#### コミュニティで取り組むこと

- 店をつくる（限定でも）
- 観光資源の活かし方を考える。
- 市有地をパブリックに、町にひらいていく！
- 中山栗の栄養たっぷりの魅力を公表！薬膳の効能とか。
- カツオ節の香る町のアピール
- 釜揚げしらす！伊予市の最高アピール
- 伊予市に寿司屋が少ない→地元の魚を地元でおいしく食べよう。

<ガイドマップ作成>  
◆下灘駅、シーサイド公園、JR松山駅などに設置。  
<コンテンツ数>  
◆体験メニュー 18→26  
◆ごはん屋さん 16→19  
（1つ1つの営業日、時間の磨き上げなど）  
<宿泊>  
◆10人泊まれる1軒貸しゲストハウスが10棟あれば100人  
◆現状の宿泊キャパ50人？（ふれあい館、モンテカプチーノ、ゲストハウス大森、シモナダハウス）  
⇒ 100人にすれば経済効果3億円!?各施設年商1千万円増  
<滞在>  
◆シーサイド50万人+下灘駅12万人=62万人/年  
⇒ 一過性がほとんど…  
5% = 3万人滞在 周遊を増加！

#### 伊予市全体で取り組むこと

- 伊予市の観光マップを作る。
- 自然を活かしたツーリズム
- シーサイドで観光案内所
- 下灘駅の検索SEO(検索エンジン最適化)にふたみ周遊の情報
- 空き家活用
- SNSで伊予市自慢
- 地元を誇りを持てる学校教育
- 下灘駅の来場者数をカウントする!!
- 伊予市に企業の誘致をする（店を増やす）。
- 地域ブランディング
- 「平等」を言い訳に中途半端な情報発信…
- 親しみやすい情報発信。デザインをちゃんと。
- 宿泊施設を増やすための支援（サポート）
- 芋炊きとかすごくいいのに人がいないもったいなさ…
- 双海、中山に光ファイバーを設置（地元から発信するには光のスピード、容量が必須。5G時代を見据えて!!）
- やるならちゃんとやる、やりきる。
- インバウンドの為の多言語対応
- 点を線でつなぐ
- ふれあい公園のキャンプ場をイケてる場所に。
- サイクリング文化に参加

#### 愛媛県の問題として取り組むこと

- 2次交通を充実させる。
- 四国などで連携した情報発信
- インフラ整備
- 商業振興の支援
- レンタサイクルの充実

（発表から）  
具体的な数値では、双海町の宿泊者数を年間3万人に増やし、中期滞在者する人を年間500人に増やしたいというところに行き着きました。





## まとめ

参加して感じたことなど、自由に感想カードに書いていただきました。

### 身近な問題として考えていきたい

- 今回の市民討議会参加について、あまり気乗りしていませんでした。SDGsについて、何の知識もなく、自分に身近な問題でないような、ピンとこないものでしたが、今日、説明を聞いて、実は伊予市にあてはめて切実な問題である事がわかりました。
- 様々な立場、世代の方の意見は新鮮で、自身の地域を客観的かつ広い視野で見つめ直す良い機会となりました。私は双海に住んでいることもあり、「双海の観光振興」については、「町民はどう感じているか」という部分も重要だと実感しました。そういう面でも、今回のような討論の機会は市の発展、持続には欠かせないと思います。今後は伊予市、双海町民としての自覚をより一層持ち、生活の細かい部分にも注意を払っていききたいです。本日はありがとうございました。
- 初めて市民討議会に参加をして、とても有意義な時間になりました。伊予市に住んでいても、伊予市について知らないことが多く、またどのように活動が進んでいるかも知らず、もっと地域に対して意識を向けるべきだと改めて気づきました。またSDGsなど、国際的な活動と伊予市の今後の活動など、興味を新たに持つことができました。一市民として、これからも伊予市の活動に積極的に参加したいと感じました。
- 長年住んでいる自分のまちの事を改めて考え直す良い機会になりました。ありがとうございました。
- 久し振りの長い時間（討議会）の勉強になり、ありがとうございました。これからは広報とか新聞をきちんと読んで、伊予市民としてがんばろうと思います。
- ①グループ 防災に力を入れたい。

### 有意義な時間を過ごせた

- 会社をリタイヤして3年、久しぶりに社会に参加した様に思います。とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。これからは真剣に伊予市の発展を考えてゆこうと思います。自分自身のためにも、豊かな老後であるためにも。
- この度、賑わいのある観光の振興について話し合いを行い、班の意見をまとめた。伊予市の観光がどのような形となれば伊予市を好きになる人が増えるのかを議論し、班全員が創造した未来の伊予市の姿を共有し合うことができた。初対面の人同士が異なる所属、異なる立場から意見を出すことで、大変広い知識の共有ができたと思う。今後に生かすことができるアイデアがあるかどうかは分からないが、同じ伊予市民同士が未来について話し合った過程に意味があるように思った。
- 伝統文化について、知らなかったことをいろいろ聞くことができてよかったというか、おもしろかった。コロナ収束後はやってみたいことができたような気がします。
- 伊予市の未来、文化の未来を考えるいい機会でした。文化振興において活字で表すことの難しさを実感しました。が、それをしないと伝わらないのも実感です。
- 今回、有意義な話し合いができ、各班、いろいろな目標達成へのプランが提案され、実現されると伊予市の今後に生きていくと思いました。人口が減ることを当然と思わず、「強み」であると思うものを本当に実際に伸ばせるように、私達の「伊予市」を守り成長させていけるように、全力でがんばっていただきたいですし、私達も自分にできることはやり、協力していきます。市民の方も見てください。よろしく願いします。
- 最後に発表がありました。達成目標のことやグループの席替えもしたりして、内容にあったことも聞いたり見たりして、参考になりました。クイズでプレゼントがもらえるところがあったり、サービスもあり、とても良かったです。
- 市民討議に参加して視野が広くなり、色々な情報と知識が広がった。参加して良かったです。
- 初めての参加でした。不安でしたが、若い方が多く来られていて、新しい時代の空気にふれて、知識を得ることが出来ました。1つ1つの事に関して、色々な考えを聞く事により又、サロンや他の集会などで活用させていただきます。本日は本当にありがとうございました。

## 今後も参加の機会をつくってほしい

- 自分が住んでいる伊予市が抱えている、沢山の課題を認識し、深く考える事ができ、とても貴重な経験となりました。将来的に人口が少なくなることが予想される中、今日話し合ったテーマについて、一人ひとりがきちんと向き合っており、元気な伊予市が続き、皆が住みたいと思えるような町づくりにつながるとよいと思う。若い方も参加されていましたが、思いや志の強さに頼もしさを感じた。長い時間でしたが参加できて本当によかった。ぜひこれからも続けて欲しい。
- 市民討議会の参加の機会を頂き、ありがとうございました。市の取組等、色々と勉強し、自身の知識の向上に少なからずつながったと思います。市民の色々な方が出席し、多くの意見、考えがあるんだなぁと思いました。又の機会があれば参加したいと思います。
- 参加させていただき、ありがとうございました。また出たいと思える内容でした。
- 良い機会を与えて下さいました。これからも継続して市民の意見等、発表出来るといいと思います。
- 77才、年老いて参加することに不安があったが、やはり参加しないと解らないということと、意見が云え？心も身体もリラックス。又、参加出来る嬉しいです。皆さんの熱い心に触れることができました。ありがとうございました。
- 様々な意見を聞く事ができたと共に、前向きな人々と議論ができて、すがすがしい気分になった。数少ない良い機会だと思う。これからも開催してほしい。
- 何となく参加したが、思った以上に勉強になった。これからも市民全体の中から、平等に参加者を増やしてほしい。
- 最高年齢で恥ずかしくも思い、まわりの人に気の毒に思い、気が引けるようでした。字の形は知っていても書く事を忘れてすみません。又の出会いにはよろしく願いいたします。

## 愛媛大学の学生から

- 今回の討議会でさまざまな価値観や知識に触れることができ、非常に良い経験になりました。私は伊予市に住んでいますが、まだまだ知らないことや課題がたくさんあると、改めて気づかされました。これからこれらの課題について、大学の方や個人的にどうすべきか、解決方法を考えていきたいと思います。この討議会での意見がどのように反映されるのか楽しみにしています。
- 私は伊予市民ではなく愛媛県民でもありませんが、今回、この伊予市市民討議会に初めて参加させて頂きました。様々な面、視点から見た伊予市の魅力、課題やこれからの伊予市に必要な事について知ることができ、とても有意義な時間を過ごす事ができました。今後も高齢者の健康づくりで伊予市と関わる事があると思います。微力ではありますが、伊予市のますますの発展に尽力できればと思います。
- 今回、市民討議会に参加してみて学びはあったと思う。私は伊予市民ではないが、伊予市の課題を考えるうちに、私の出身地について考えるようになった。実際、伊予市の問題は他人事ではなく、これから就職して社会人を送る時に、必ずあたる壁だと思う。ただ私の理解力がなさすぎだったのもあって、理解出来ない点もあったので、もっと事前に学びたい。
- 伊予市の知識がほとんどなかったが、参加して、伊予市の現状、課題を知り、市民の方と話す事ができたのでよかった。様々な方が参加しているので、伊予市全体のことを考え、情報共有を行いながら進める事ができた。市民の意見はなかなか言いにくいので、このような機会があることはとても良いと思うし、市民が地域を作っていく意識も高まると思う。私も今回参加させていただいて、学ぶことが多くありました。ありがとうございました。
- 今回、討議会に参加し、伊予市の取り組みについて深く知ることができたとともに、住民や学生が今後、どのようなことを期待しているのかを知るよい機会になった。多くの方と話し合うことで、自分の視野を広げることもできた。今日、学んだことは今後の取り組みに生かしていこうと感じた。
- 今回、伊予市市民の方々が参加する討議会は「ヨソモノ」の私が話し合いに参加できるのか、すごく不安でしたが、「ヨソモノ」らしく参加できて良かったです。SDGsについての知識も向上することができました。今回学んだことは今日だけに終わらずに、今後の活動に活かしていきたいと考えています。今日は貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

- 伊予市民ではなく、学生という立場で討議会に参加させていただいて、伊予市活性化に向けて様々な視点から意見を言い合うことができた。伊予市が持つ強みと、今回出てきた深い意見で、政策を実現できれば、より伊予市活性化の未来が期待できると感じた。
- 伊予市在住ではないので、肌感として何が問題なのかは分かりにくかったが、様々な課題があることを知った。その課題に対して老若男女問わず多くの人と意見を交換することができたように思う。他地域に住んでいるからこそその発言もできた。伊予市が発展することを願う。

- 市町村がどういう風に自分たちのまちづくりの課題や良さについて考えているか、少し知ることができて、貴重な時間になりました。それぞれ皆さんが意見をもっていることに感心しました。
- 私は松山市在住ですが、伊予市市民討議会に参加させていただき、伊予市のことをより深く知ることができました。現在、伊予市に関するプロジェクトにも参加させていただいています。今回、学んだことや得た知識を、プロジェクトでも活かしていこうと思います。本当にありがとうございました。

## 意見を計画に反映したい

- 特に〔②循環型社会構築に向けた環境づくり〕のテーマで、更なるごみの減量化、再利用化の必要性についてグループで議論しましたが、社会環境の中で欠かせない事案です。伊予市がゼロエミッション、エコロジータウンとして目標をもって、10年後、具現化できることを期待いたします。ごみを資源として、ごみをコミュニティの場としてとらえるようになれば良いと思います。
- お疲れ様でした。いい提案を活かして下さい。SDGsからフォローアップをする場合、総合計画の課題や戦略を提起し直さないといけないと思います。行政評価をする方法では、指標が市民共有目標にならないと。特に経済産業政策は、有識者、専門機関を入れてきちんと調査研究しないといけないです。でないと知識集約型イノベーションは行えないと思います。
- 自分が担当したテーマは具体的な施策が想像しにくいテーマであったが、参加されたグループのメンバーが積極的に発言されたので、思った以上の成果が私にはありました。「教育」か「学習」か。市の方針の表現はしっかり考え、判断すべきだと今も思っています。
- 検討テーマや達成目標について市民の方と具体的に話し合い、意見が聞けた事はとても参考になりました。またSDGsと関連づけて考える事で、取組がどの様に影響してくるか考える事ができました。達成目標についても、アクションプランについて具体的に話し合う事ができた為、様々な意見が出て、とても参考になりました。
- このような市民討議会に参加させていただき、ありがとうございました。少しでも実りのあるよう、市でも検討していただき、現実になることを期待しております。

## 進め方について

- 市民がこれだけ前向きに自らの市町村について考え、意見を出し合うために1日を使うことはすごいシティプライドだと思いました。こんな市民がいることは宝です。しかし、行政の総合計画をみんなで話し合うのだから、行政の方々はそれをいかに行動に移すか、実行するかが大切です。なのに、この場には未来づくり戦略室の職員と、ほかの班に職員がいるくらい。観光のことも話し合いましたが、経済雇用戦略課の職員にこれらの意見がしっかりと伝わり、実行されていくのかを考えるとハテナです。市民の貴重な1日を頂いたことを胸に、責任をもって実行していくべきだと思いました。職員は各班の市民の話をもっと切に聞くべきだと思いました。
- 様々な問題がありますが、テーマから参加者に発案させてはどうですか。ユニークな提案に対して目新しい具体的な目標・結論が示されることがあります。当日にテーマを提案するのが困難であれば、事前に行ってはどうか。
- 学生や先生はいい意見を出してくれたと思う。ただSDGsに当てはめてという点が合点がいかない内容であった（出た意見を17の分野に分ける時など）。小・中・高生も参加させるべきと思う。
- 開始前はどうかまとまるのか見えていなかったが、進行するにつれ、まとまる様子が面白かった。返信用ハガキにはプライバシーシールを付けるべき！